

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」上島校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 29日		～ 2024年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 29日		～ 2024年 12月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援プログラムや教員が豊富で活動が柔軟な支援活動を行うことができる。	飽きが来ないように支援中のお子様の様子を見て支援内容を常に見直している。 仕事のバリエーションがたくさんあり、更にお子様のリクエストに応じて作るものを決めることで意欲向上に繋げている。	市内の「きらり」で共同の教材研究チーム活動を行っているので、今後も教材研究を続けていきたい。教材開発にも着手したい。
2	定期的にHPやSNSで情報発信がされている。	ブログやInstagramを使ってイベントや保護者会、お子様の活動の様子を公開している。 LINEは発信専用だが、今申し込めるイベントやアンケート、事業所相談の申し込みができるようになっている。	お子様と保護者の皆様が見て楽しめるような情報発信を今後も続けていく。 LINEによる情報発信ができる職員とできない職員がいるので、使いこなせる職員を増やしていく。
3	お子様が安心感を持って通所を楽しみにしてくれている。	お子様に無理をさせない支援内容を考え、徐々にステップアップできるようにしている。 「次に来た時に○○しようね」と約束をすることで、見通しを持たせ、次回来所するのを楽しみにできるようにしている。	お子様に関する気付きを保護者の皆様にお伝えし、保護者の皆様と職員が同じ方向を向いていく。 職員全員が声掛けや対応法を揃え、安定した関わりを持つことで、お子様にとって安心できる場であり続ける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもと関わる機会がない。	利用されているお子様の個人情報が外部に漏れてしまうかもしれないという懸念がある。 個別療育が主な事業所なので、地域との関わりに需要があるのか。	「きらり」の活動において地域との関わりを求めているのかアンケートを取る。 地域イベント等を調べてみる。
2	兄弟姉妹向けのイベント等、兄弟姉妹への支援がされていない。	イベント開催時は常に大人数の希望があり、兄弟姉妹を呼ぶことで更に人数が増え、安全上のリスクが生じてしまう。 利用されているお子様への目が行き届かなくなり、思いもよらない怪我に繋がる可能性が否定できない。	利用されているお子様の送迎時に一緒に来てくれた兄弟姉妹への声掛けの継続。待っている兄弟姉妹に対してのおもちゃ等の貸し出しを引き続き行う。 保護者様に対し、家庭での兄弟姉妹との関わりの様子を尋ね、アドバイスをしていく。
3			

上島校

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」上島校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

29

回収数

15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	3	1	0	やはり狭さは感じます。	ご迷惑をお掛けします。限られた環境でありますので、お子様が怪我をしないよう体を動かす際は机や椅子に当たらないよう声掛けを徹底していきたいと思ます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	7	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	2	1	0		
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	3	0	1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	1	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	2	0	1	本人に悪気はないことはわかるが、無意識に自分の意見に沿わせようという発言が出ている職員の対応や、支援内容によっては個々の苦手が目立ってしまい支援内容に不安を感じることもある。それぞれのスタッフが様々な持ち味を活かして、持ち味を活かした配置をいただければ、とても良いと思われる。	この度は貴重なご意見をいただきありがとうございます。個々に得意、不得手がある中で、職員の良い面を認めていただき、その得意な面を活かした支援をしてほしいとのありがたいお言葉をいただきましたこと、感謝申し上げます。今後も職員それぞれの良さを活かした支援を心掛けていきたいと思ます。職員のお子様への接し方や発言につきましては、不安を感じさせてしまい申し訳ありませんでした。職員へ療育の知識だけでなく、お子様との接し方や心構えの研修を継続的に行ってまいりましたが、今回のご意見を受け、さらに職員への指導を徹底する必要性を痛感しております。職員一人一人が丁寧に皆様と向き合い、成長のお手伝いができるよう精進してまいります。今後このような不安を感じさせてしまわないよう、職員一同、サービスの向上に誠心誠意努力をしてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。支援に関してお気づきのことがございましたらいつでもおっしゃってください。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	2	0	0		

	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	4	3	3		1時間ごとの個別療育が主なので地域の園やお子様と交流する機会がなかなか持てていないのが現状です。今後、利用者様の希望も含め交流方法を検討していけたらと思います。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	1	0	0			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	1	0	0			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	2	0	2			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	1	1	2			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	6	2	0		来所時に指導員、または児発管から最近の様子や困りごとをお聞きするようしております。「事業所内相談」も行ってまいりますので、お気軽に声をお掛けください。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	3	0	0		何度か返事をゴリ押しされることがあるスタッフがいた事だけは、残念でした。とはいえ、基本的に、ほとんどのスタッフは丁寧で、優しい対応をされています。	期待を裏切るといった思いをさせてしまい申し訳ございませんでした。お子様や保護者の皆様を肯定的に受け止めるような言葉掛けを心掛けられるよう、職員教育を徹底していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	5	0	5			
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	4	0	3			
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	2	0	2			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12	0	0	3			
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	1	0	0				
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1	0	2			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	2	0	2			
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	4	0	1			
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	3	0	3			
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15	0	0	0			

満足度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	1	0	0	否定的な対応をされたと感じた後はあまり行きたがらなくなります。概ね、笑顔で、きりりさんにまた行きたい、と言っていますが。	職員の対応により、お子様を傷つけてしまい申し訳ございませんでした。受容と傾聴の姿勢を忘れないよう、職員研修等でお子様や保護者の皆様とどのように向き合っていくか一層学んでいく所存です。今後も何かお気付きのことがございましたら遠慮なくおっしゃってください。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	3	0	1	通い始めたばかりということもありまだ分からない。	通っていく中でお子様にとって楽しい場所、認めてもらえる場所だと感じていただけるようになっていければと思います。是非、家や園で困っていることや今後こういうことができるようになったいいなと思っていること等、お話を聞かせてください。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」上島校				公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	1時間当たり利用児を2名に限定している。 ホワイトボードを使用しているため、個人のスペースが確保しやすい所が良いと思う。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	人員配置は体制通り配置できている。 職員が緊急に欠勤した時の体制が不十分なので人員をあと一人増員して欲しい。職員の人数が足りないと感じる時がある。	近隣校舎で助け合えるように、校舎内でインフルエンザ等になってしまった職員がいた時は共有するようにしている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	トイレの臭いが気になる。	毎日の清掃を欠かさない。設備面については会社にも相談済みなので、今後のことを引き続き話し合っていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	5	ホワイトボードで空間を区切ってはいるが個別の部屋は存在しない。 パーティションで仕切られてはいるが、支援中に隣の声が聞こえる。また保護者への申し伝えの際に他の保護者に話している内容が聞こえてしまう点は改善が必要。 他児と関わりたくない児童がいても同じ部屋にいるしかないので部屋を仕切れるといい。	1時間当たりの利用人数や、静かな環境を望むお子様の時間帯のメンバーをできる限り調整していく。
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	年1回事業所評価をお願いしており、回答を見て業務や対応の見直しをしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	定期的に面談を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	市による監査が行われているため、数年に一度は外部による評価が行われていると考えても良いが、毎年ではない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	内部研修、外部研修に参加する機会がある。 研修は数多く開催されているが、支援の準備や記録、その他の仕事に追われて研修のための時間が確保できない。	支援準備の効率化を図るため、教具の整理やPC内にあるプリントのデータがすぐ出せるよう工夫していく。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	1		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	5領域対応の個別支援計画になるよう新しく型を作った。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	個別療育を求める方が多いが、小集団やイベントへの参加も広く募っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	終礼や昼礼で情報共有をしている。支援開始前に必ず打合せを行っていないが、支援後や次の支援で活かすことは共有できている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	終礼や昼礼で情報共有をしている。支援前と支援後に毎回打ち合わせを行う時間は確保できないが、支援後だけでもその日の支援内容の様子について職員間で共有する時間を設けたい。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	サービス社担当会議に参加し、利用児の支援内容の見直しや共通理解を図っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	園訪問をして集団での様子を見て、個別療育のできることを提案している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	「かけはしシート」を持参し、口頭でも情報を伝えている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1			

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	グループの保育園での実習をさせて頂いている。	入社時だけでなく、既存職員もグループの保育園で実習を受けることは可能だが、認知度が低い状態なので広めていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	園や家庭での様子を聞き、アドバイスをするようにしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約の際に説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	計画の内容を説明したうえで同意のサインをいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	保護者会で保護者同士が自由に話せる時間を設けるようにしている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	ブログやインスタを活用している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	鍵付きの書庫で保存している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	毎年基本情報シートを保護者に記入してもらっている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	飲食の提供はない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	今年度より作成した。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	今年度より重要事項説明書に記載するようになった。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	内部研修、外部研修へ参加している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	身体拘束を行ったことはないが、個別支援計画に記載している。必要があれば同意書を作成する。 毎月虐待防止チェックを行っている。	